

「開かれたお寺」をめざして
念仏の声を子や孫の世代に伝えるために
…地球温暖化防止を推進しよう…

一、私にできることをはじめよう

森が燃えていました。
森の生き物たちは、われ先にと逃げていきました。
でも、クリキンディという名のハチドリだけは、行ったり来たり、
くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んで
火の上に落として行きます。
森の動物たちがそれを見て
「そんなことをして一体、何になるんだ」と言って笑います。
これに対してクリキンディはこう応えました。
「私は、私にできることをしているの」

translated by 明治学院大 辻信一教授

これは、地球温暖化防止を推進するためのコンセプトフレーズです。
九月二十二日、鳩山首相が初の外交の国連スピーチで「二千二十年迄
に温室効果ガスを九十年比で二十五%削減する他、途上国に日本の省エ
ネ技術や資金を積極的に提供する【鳩山イニシアチブ】を提唱しました。
その熱気も冷めやらぬ九月二十五日夜、正覚寺にて本年度滋賀組第
一回総代研修が開催されました。タイトルは「念仏の声を子や孫に伝え
るために…地球温暖化防止を推進しよう…」というのです。
実は、住職は、長年の環境問題への関わりから平成二十年より滋賀県
地球温暖化防止推進委員の委嘱を受けて活躍しているのです。

そのような背景に加えて基幹運動推進委員としての立場から、既に、
教区では平成二十年二月三日に野洲組の同朋運動推進門信徒研修会
の研修「環境問題を考える…いま私にできること…」に出講しており、

同年五月二十日に滋賀教区教務所において「教区基幹運動推進委の
研修協議会で「環境問題について-念仏者一人一人がどう取り組むか-
私にできるひとしづく運動…」を立ち上げてきたのです。更に、

同年七月十二日の滋賀組連続研修会初回の研修では「子や孫たちの
未来の為に-環境問題への取組-」と題して、研修会を催しました。

ですから、今回の地球温暖化防止に向けての研修は、曲がりなりにも
滋賀教区で都合四回目の営みになるのです。

奇しくも来年度のご本山の安居の特別論題に基づく自由討議には「環
境問題と仏教」が掲げられたばかりです。

今日、環境問題は、今から四十年前頃の公害問題と違って、加害者と被
害者の区別がつきません。

誰もが加害者であり、被害者であるということが出来ますし、未来の子
や孫たちの立場から見れば、全く身に覚えのない父母や祖父母の時代の
勝手気ままな生活の付けが一方向的に課されて地球温暖化の苦しみを負
うのだからたまったものではありません。

私達は、すぐにでも地球温暖化防止に向けて行動に着手し、将来の子
や孫たちの負担を軽減しなくてはならないのです。

それは、念仏の声を私達の世代に伝えて下さった父祖の代の営みに習
って、将来の子や孫たちがお念仏のみ教えを享受することができるよ
うに、その前提条件を確保する営みとなるのです。

実は、二〇〇七年度の日本の地球温暖化ガス(GHGと略称)の排出量の
九十年比の実績を見ますと、産業界は大変な努力を重ねてマイナス二%

を超える実績を実現しています。

その一方において、業務部門ではプラス四十四%、家庭部門ではプラス四十一%、運輸部門ではプラス十五%も超過しているのです。

鳩山首相の言うGHG二十五%削減の目的を達成するためには、すぐにも国を挙げて、個々の家庭での排出量の削減に真剣に取り組まなくてはならない段階にあることは火をみるよりも明らかです。

けだし、高速道路通行料の無料化やガソリン暫定税率撤廃は、政策上の不整合と言わねばなりません。

家庭での取り組み実績を上げるには、何といても、個々の家庭での取り組みができなくては目的を達成することができません。

そこでまず、研修では、我が家のGHG排出実績を反映するエネルギー使用量を金額換算で見える化する仕方で調べてみることにしたのです。

事前に受講生の皆さんに配布しておいたアンケート【[エコノート診断書記入シート](#)】に記入して戴いたサンプルデータを取り上げました。

アンケート用紙では、電気代、ガス代、灯油代、ガソリン代金、水道代金等の金額表示に加えて生活スタイルの自己評価を行って戴いています。

金額データは、予め統計的に調べがついている大津市の家族データの平均的な数値と対比してグラフ化します。

グラフは金額表示そのものですから、多ければ棒グラフの柱が高くなります。また、生活スタイルの自己評価の結果は、GHGガス削減の意識が最も高いケースに対比してどのくらいのレベルにあるかをレーダーチャートで比較するものです。チャートが円周に近くなればなる程、意識が高い家庭だということになります。

第二部のグループ討議では、サンプル家族の実績を捉えて一体どのようにすれば、GHGの排出量を削減できるかについて話し合っ

た。その際【[削減チャレンジ宣言](#)】により着眼点を見出して戴きます。

【[削減チャレンジ宣言](#)】というのは、生活スタイルの改善がどれだけ削減できるかの目安を金額と炭酸ガス排出量で示したものです。

用意されたカリキュラムの利用しやすさ、講師の説明等に多少の難点はあったものの、皆さん大変真剣に討議して戴き、立派な発表をして戴きました。配布した【[削減チャレンジ宣言](#)】のデータは、これからの生活改善に役立てることができるとご好評を戴きました。

この研修は地道な家庭レベルでの取り組みが広範囲に広がることをめざしています。次に示したコンセプトフレーズは、私達のこれからの取組の方向を水先案内してくれるものではないでしょうか。合掌

森が燃えているのを見たハチドリは
仲間を増やそうと思いました。

「それぞれが一羽ずつ仲間を増やすように伝えて！」

二回伝わると四羽が、三回伝わると八羽が、

十回伝わると千二十四羽が、二十回伝わると百万羽以上が、
そうしてそうして…

四十八回伝わると二百八十一兆羽のハチドリがやってきて、
おのおののひとしづくで

いつのまにやら、森の火は消えていたのです。

Ref)枝廣 淳子(環境ジャーナリスト)の発想を手掛かりに

Ref)ハチドリ計画への喚びかけ 08/4/25) <http://www.hachidori.jp/> 合掌

正覚寺平成二十一年度報恩講 十月二十四日(土)～二十五日(日)
正覚寺仏教壮年会例会 毎月第一日曜午後八時より
正覚寺仏教婦人会例会 毎月十六日午後七時より
著作編集兼発行元 りびんぐらいぶず編集室(浄土真宗本願寺派 正覚寺内)
〒520-0501 大津市北小松四五番地 ☎&Fax077-596-0166 住職 堅田 玄宥
<http://syohgakuji.web.fc2.com/> E-Mail:mhkatata@pluto.dti.ne.jp